



扉 ペトナムの民族楽器⑫

青木有理 1



まなぶということ

浪江福治 2



詩 秋の雑木林

太田章子 4



特集

仕事と生活とわたし

働くことの尊厳を取り戻そう

山口かおる 6

賃金・休暇労働条件 みんなの力で闘い取ってきた国 … 浦田 誠 9

中国 先行き見えぬ老後の生活を変えていけるのか … 吉田陽介 12

プロスポーツ選手の労働・賃金事情 … 内海和雄 15

ワークライフバランス

与えられるもの？ 勝ち取るもの？ … 寺田清一郎 18

Q&A 高市総理でどうなる日本の経済と社会 … 伊藤 修 20

国家と教育 ③③ 伝習館高校事件 … 岩垣真人 27

職場の法律相談 昼休み時間にも 電話をとるって、仕事なの？ … 木村 壮 31

「からまなぶ『賃金論』」8 貨幣とはなにか … 菅原修一 34

日本のうしろ 世界のうしろ

いよいよ始まる26春闘 はたらく者の課題は … 片山隆司

官製イベント万博・カジノ構想から副首都構想へ … 森 裕之 53

トランプショックと株高は労働者を救うか … 北村 巖

- ◆ キャラバンサライ
- ◆ スポーツ時評
- ◆ 世界はいま
- ◆ 経済を知ろう！
- ◆ 数字を疑え
- ◆ 中国観看

48 46 44 42 40 38

- ◆ 働くものと健康
- ◆ 働く現場から
- ◆ 情報BOX
- ◆ 北から南から
- ◆ センターとみなさんをつなぐ

68 66 65 52 50

カットII 野崎安希子

まなぶということ

利益は、働く人々の労働がつくりだした

浪江 福治

2025年9月2日の朝日新聞は、「財務省が公表した224年度の法人企業統計調査で全産業の売上高が前年より3・6%増えて1692兆4018億円になり、前年度に続き過去最高を更新した。経常利益も7・5%増え過去最高。人件費も3・5%伸びたが、付加価値に占める割合（労働分配率）は前年度を下回り、1973年度以来の低水準が続いている」「人件費の合計は229兆3516億円。付加価値（営業利益ベース）に占める割合は64・%で、前年度（65・1%）を下回った」「株主への配当は4兆747億円で前年度より12・2%増え過去最高を更新」「企業が人件費を抑えて配当を増やしている構図が浮かぶ」と報じています。

働く人々の労働がなければ一切の価値（富）は生まれません。原材料と機械・設備に労働を加えて価値・利益は生まれます。

国民全員の労働によってつくりあげた価値は、企業の設備投資・企業の内部留保（ため込みは2023年度末で600兆円を超えている）、株への配当、働く人々の賃金等に分配されます。

国民全員の労働によって生み出した価値は賃上げと税制・社会福祉で国民の生活向上と未来の生活に使うべきです。

春闘で大幅賃上げや最低賃金の引上げを勝ち取ることと合わせ、税制改革や国民への社会保障・福祉の充実に配分を多くするよう制度の変革を求める取り組みも重要です。

税制は、富裕層や法人税への累進課税、所得税の最高税率引き上げ、不労所得といわれる金融所得課税強化が必要です。その基本である負担能力に応じた負担（応能負担）にもとづいて変革すべきです。格差が拡大しつづける現状を変えるためにも必要です。

（労大埼玉運営委員会副委員長）